

対イラン草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ホラサーンラザヴィ州におけるアフガン難民用医療施設診療機材整備計画」

開所式の開催

「イマーム・バーゲル慈善団体」は、平成24年9月17日に、ホラサーンラザヴィ州マシュハド市において、「ホラサーンラザヴィ州におけるアフガン難民用医療施設診療機材整備計画」に係る開所式を開催し、駒野欽一特命全権大使を始めとする関係者が約60名出席しました。開所式において駒野大使は、「イランのアフガン難民支援の努力にわずかでも貢献できたことは、私にとって素晴らしい機会となりました。イラン政府及び国民と、国際社会及びNGO等による協力関係が今後も継続することを期待しています。」と述べました。

本計画は、マシュハド市のアフガン難民及び貧困イラン人を対象とした医療施設において、無償または安価で医療サービスを提供するするために必要な診療機材を整備するものです。

本開所式の後、駒野大使は、マフモウド・サラヒ・ホラサーンラザヴィ州知事への表敬訪問を行いました。



写真1：開所式でスピーチを行う駒野大使



写真2：開所式の様子



写真3：診療機材の説明を受ける駒野大使



写真4：州知事（右側）への表敬訪問